

Q & A

Q 1. カーペットを敷きたいのですが、何をどのように選んだらいいのかわかりません。どうしたらいいでしょうか？

A：小売店の売場担当者と相談しながら買うのがいいでしょう。いろいろな商品を見てみたいのであれば、インテリア会社のショールームを訪ねてみてはいかがでしょうか。カーペット選びだけでなく、お部屋全体のコーディネートにに応じてくれるショールームもあります。お気軽にご活用ください（組合ホームページの「ショールームのご紹介」をご参照ください）。

Q 2. 通常のお手入れ方法では取れない汚れがカーペットに付いた場合、どうしたらいいですか？専門業者を紹介していただけませんか？

A：経験豊富なクリーニング店、カーペットクリーニング資格を持った専門家に依頼するのが最良です。例えば、世界的レベルのプロクリーナーとしての知識修得と技術訓練をしている非営利団体 IICRC（Institute of Inspection Cleaning & Restoration Certification、本部：米国）から認定された会社などをお選びください。

※日本カーペットクリーナーズアカデミー 電話 0568・71・0701

<http://www.japan-carpet.com>

Q 3. リビングが床暖房です。カーペットを敷いても問題ないですか？

A：カーペットの裏面がジュート（麻）でもフェルト（不織布）仕様であっても、カーペット自体への影響はとくにありませんが、念のため、商品ラベルなどで確認することをおすすめします。床暖房システムに対する影響は、床暖房メーカーへ直接お問合せください。

Q4. カーペットを夏に敷いても快適に過ごせますか？

A：確かにカーペットは秋や冬に敷くものというイメージがありますね。しかし、春や夏に敷いても快適に過ごすことができます。麻や綿などの天然繊維を用いたカーペットは、さらりとした爽やかさで肌触りもよく、暑い夏を快適に過ごすことができます。裸足でその上を歩いても、フローリングのように嫌なべたつきもありません。

天然繊維のなかでもウールは高い調湿機能があり、湿度でムシムシする室内を快適な空間にします。ウールはとくに冬のイメージが強いですが夏でも活躍します。空気中の有害化学物質を吸着する能力も持っているので、“快適”だけでなく、“健康”ももたらします。

ナイロンなど化学繊維のカーペットでは夏用に特化した商品があります。涼感効果を発揮する成分をカーペット表面に加工したものや、冷房効果を高めて保冷するものなどです。

Q5. 子供が喘息にかかり、原因はダニであるとわかったのですが、お医者さんから、カーペットを外しなさいと言われました。本当にカーペットに居るダニが原因なのでしょうか？

A：最近の研究では、カーペットを無くしても喘息の患者数が減らなかったという結果が報告されています。一方で喘息は、就寝後に寝具から舞い上がったホコリが口から入ることが原因であることが分かってきました。カーペットはホコリをキャッチする「ダストポケット」効果があることから、カーペットに居るダニが直接的な原因ではないと言えます。

Q6. マンションの3階に住んでいますが、フローリングを歩く音が階下の方に迷惑になっていないか心配です。どうすればよいのでしょうか？

A：音が生じる場所には、吸音効果の高いカーペットかラグマットなどの繊維系の床材をおすすめします。表面の柔らかい繊維層が音を吸収してくれます。また足音の対策だけでなく、話し声やテレビの音などにも有効です。